

令和8年第2回定例会

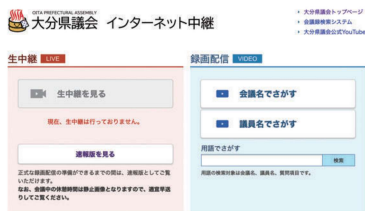
6月11日から6月26日までの16日間、開催しました。

開会日には、今年4月に逝去された故井上明夫議員に対する追悼演説及び黙とうを行いました。その後、嶋議長による諸般の報告に続き、大分県宿泊税条例の制定についての議案などが提出され、佐藤知事が提案理由を説明しました。6月17日から19日までの一般質問には12人の議員が登壇し、県政の課題に対し、執行部と活発な議論を行いました。

6月22日、23日に開催された常任委員会では、付託された議案等について審査を行いました。

今定例会では、知事提出議案等17件を可決・同意・承認、議員提出議案4件を可決し、閉会しました。

本会議の様子はインターネット中継から録画配信をご覧いただけます。



一般質問 6月17日(水)



県民クラブ
高橋 肇 議員

学校外における体験活動の充実について



問 ラーケーション制度の導入を含め、学校外における体験活動の充実にどのように取り組んでいくのか、教育長に伺います。

※ラーケーションとは？

「ラーニング」と「パケーション」を組み合わせた造語で、平日に子どもが保護者とともに、学校外で学習活動を行うこと

答

学校外における体験活動は、子どもたちの豊かな人間性を育む上で重要です。

香々地・九重両青少年の家では、周辺の自然環境や各施設の設備を活かした多様な体験機会を提供しており、家庭教育の支援はもとより、不登校児童生徒の社会性を高める取組などにも活用しています。ラーケーションは、別府市が「たびスタ休暇」として令和5年9月に導入し、取得者からは肯定的な評価が示されています。

一方で、学習の遅れや家庭環境による体験格差等の懸念もあり、制度の趣旨と課題について社会全体で理解を深めることが重要です。

今後は、先進事例などの情報収集に努め市町村教育委員会と共有するとともに、県内の社会教育施設等での取組を通じ、学校外における体験活動の充実を図ります。

質問はこのほか「中東情勢の影響について」など8項目



自由民主党
森 誠一 議員

東九州新幹線について



問 東九州新幹線の実現に更に近づいていけるよう、今後どのように取り組んでいくのか、知事に伺います。

答

東九州新幹線の早期実現に向けては、全国総決起大会や国への要望活動などあらゆる場面で4県1市（大分・福岡・宮崎・鹿児島各県及び北九州市）との連携を図っています。

また、6月上旬には、県単独で政府・与党への要望活動を行いました。

こうした取組の中、

国が令和8年度当初予算にケーススタディ調



県単独の要望活動

査を盛り込んだことは大きな前進であり、対象路線に選ばれることが喫緊の課題です。

5月には4県1市の首長が一堂に会し、予算の確保や、ケーススタディ参画に向け連携を強化することなどで合意しました。

加えて、東九州地域全体の盛り上げや県民の機運醸成にも力を入れます。県内では、若者・ファミリー向けのイベント出展や、SNS等を活用した新たな情報発信を展開します。

基本計画路線の整備計画路線への格上げに向け、これからも全力で取り組みます。

質問はこのほか「高校教育改革実行計画の策定について」など7項目



志士の会
末宗 秀雄 議員

国道500号沿線における誘客促進について



問 国道500号沿線における誘客促進をどのように進めていくのか、観光局長に伺います。

答

県内の宿泊者数は堅調に伸びているものの、有名温泉地に集中する傾向にあり、各地域への周遊が課題と認識しています。そうした観点から、桂昌寺跡・地獄極楽や院内の石橋群等がある

国道500号沿線の豊かな自然・歴史文化等は、地域への周遊を促すうえで非常に魅力的な地域資源です。

その魅力を誘客につなげるため、これまで観光拠点化整備や観光看板の整備のほか、台湾旅行会社の招聘や、安心院農泊への修学旅行誘致など情報発信や誘客強化に取り組んできました。

引き続き、市町村や事業者とも連携を図り、国道500号沿線への誘客はもとより、県内各地への周遊を促す取組を展開していきます。



院内町石橋群(宇佐市)

質問はこのほか「中東情勢悪化による物資供給及び物価高騰対策について」など4項目



自由民主党
きよた ときや
清田 哲也 議員

造船業の振興について



問 県内の主要産業である造船業の振興にどのように取り組むのか、知事に伺います。

答 国は、日本成長戦略における戦略分野の一つに造船業を位置づけ、2035年までに官

民合わせて1兆円規模の投資を実現する方針を示しています。

県内でも、白杵造船所の最大50億円の設備投資や、造船会社等連名での国家戦略特区申請など、競争力強化に向けた動きが始まっています。

一方で、人材不足が深刻な課題との声を踏まえ、策定中の地域未来戦略における地域産業クラスター計画の中核分野に造船業を位置づけ、官民設備投資や人材の確保・育成などを促進します。

また、7月には、関係者が参画する連絡会議を開催し、取組の具体化を進めます。

造船業は、今後の成長が大いに期待される分野のため、官民連携のもと、競争力強化と持続的な発展に取り組めます。

質問はこのほか「県有建築物における県産材の利用促進について」など8項目

6月18日(木)



自由民主党
おhta まさみ
太田 正美 議員

国立公園の活用について



問 由布岳の登山道などの受入環境整備を含め、国立公園の活用をどのように進めていくのか、生活環境部長に伺います。

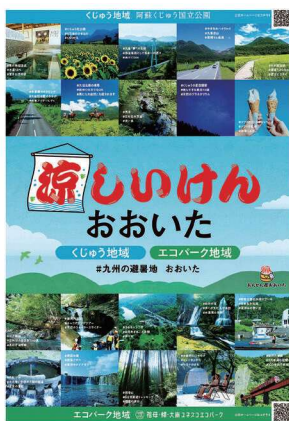
答 国立公園が持つ豊かな自然を将来にわたり継承するためには、保全と活用の両輪で取り組むことが重要です。

国立公園では、国・県・市町村が分担して管理を担い、受入環境の整備を進めています。管理者不在の登山道は、ボランティアに支えられている側面もあります。

由布岳においては、今後、自然休養林保護管理協議会や由布市等と連携し、持続可能な管理や整備のあり方を議論したいと考えています。

また、活用に向けた情報発信も重要であり、この夏から、標高の高い地域などの特性を活かし「涼しいけん大分 九州の避暑地」と題して国内外でプロモーションを展開しています。

引き続き、関係機関と連携し国立公園全体の魅力を高めながら、保全と活用に取り組めます。



質問はこのほか「豊かな森林資源の継承について」など7項目



県民クラブ
なりた けんじ
成迫 健児 議員

シニア世代の働き方改革について



問 シニア世代の働き方改革にどのように取り組んでいくのか、知事に伺います。

答 県では3つの柱で、シニア世代の働き方改革に向けた施策を推進しています。

就業機会の確保では、企業訪問による支援制度の案内やセミナーの開催など、柔軟な雇用環境の整備を促進しています。

働く意欲のある方々への支援では、「大分県中高年齢者就業支援センター」にて、職業相談やキャリアコンサルティング等を一体的に実施し、一人ひとりの能力や特性に応じた仕事を勧めています。

社会参画の促進では、シニア世代が地域の支え手としての役割を担えるよう環境整備を行っているほか、新たな技能や知識の習得に挑戦する方々には、リスキリングの機会を提供しています。

このような取組を通して、働く意欲のあるシニア世代が活躍できる「生涯現役社会」の実現を目指します。

質問はこのほか「介護人材の確保について」など6項目



自由民主党
おかのりょうこ
岡野 涼子 議員

水災害対策について



問 天瀬地区における珍珠川の改修をはじめ、水災害対策をどのように進めていくのか、土木建築部長に伺います。

答

珍珠川の天瀬地区は、用地取得が進んでおり、今年度から本格的な工事に着手する予定です。地域活性化や賑わい創出のため、「天ヶ瀬温泉街復興まちづくり計画」に基づき、景観に調和した護岸や遊歩道などを整備します。

また、山国川や小野川など浸水被害があった河川においても、地域との合意形成を図ったうえで改良復旧を進め、再度災害の防止に取り組んでいます。

ソフト対策も重要であり、浸水想定区域図の公表や河川水位表示

マーカーの設置、監視カメラの更新

などにより、

水害リスク

の見える化

を進め、早



天瀬橋 量水標(日田市)

ていきます。

今後、ハード・ソフトの両面から総合的な水災害対策を強力に推進し、県土強靱化に全力で取り組みます。

質問はこのほか「再生可能エネルギーの活用について」など7項目



公明党
さわだともひろ
澤田 友広 議員

中東情勢に伴う医療・社会福祉施設への支援について



問 中東情勢に対応するため、県民の安心・安全の基盤となる医療・社会福祉施設への支援にどのように取り組むのか、知事に伺います。

答

石油関連製品の供給や価格高騰に対する不安の声は多く寄せられており、先行きの不透明感から、その不安は依然として払拭されていない状況にあります。

そこで、6月3日から4日に関係省庁を訪問し、医療資材等の安定供給に向けて必要な処置を講じるよう求めています。

物価高騰への対応では、価格転嫁が困難な施設等に対し、電気代

や食料費等の高騰分の一部を助成

するとともに、診療材料費やガソリン代等の支援を行うなど、影響

の緩和に努めています。

コスト抑制による経営基盤の強

化も不可欠なため、今定例会に提出した補正予算案に、医療機関等における省エネ設備導入支援経費として約15億円を盛り込みました。

引き続き、国

際情勢や国の動

向を注視しながら、医療機関や

社会福祉施設への支援に努めま

す。



質問はこのほか「8050問題について」など7項目

6月19日(金)



県民クラブ
きだのぼる
木田 昇 議員

地方税収の偏在是正について



問 地方税収の偏在是正にどのような取り組みむのか、総務部長の見解を伺います。

答

近年、東京一極集中の進展に伴い、税収の偏在も進み、財政力格差が拡大しています。

東京都では、所得制限を設けな

い直接的な給付サービス等を実施

しており、隣接県からも行政サー

ビスの格差が拡大しているとの声

が上がっています。

こうした状況を踏まえ、国では

偏在性の小さい税体系の構築に向けて検討がなされており、財政力

に乏しい本県にとっても、偏在是

正は税収の充実が期待できるため

国に強く要望しています。

令和9年度の税制改正に向けて

は、特に偏在性の高い地方人課

税において、特別法人事業税の譲

与割合の拡充など具体的な取組の

方針が示されました。

引き続き、偏在是正の取組を加速するよう、全国知事会等を通じて国へ働きかけていきます。



自由民主党
しゅうけんじろう
首藤 健二 議員

サンリオキャラクターの活用について



問 本県の魅力発信や県政の認知拡大に向けて、サンリオキャラクターをどのように活用していくのか、具体的な取組を知事に伺います。

答

昨年度注目を集めた「大分ハローキティ空港」等の効果を

持続させるため、4月にはハローキティを「おおいたスペシャ

ルサポーター」に任命し、魅力発信力の向上を図っています。

今後はイベント等を通じて、県内外での話題づくりに取り組むとともに、海外での人気を生かし、プロモーション等への出演など観光誘客や県産品の販路開拓・消費拡大にもつなげます。

加えて、本県オリジナルデザインのロゴマークを2種類作成しました。これらは、全庁にわたる様々な分野でPRグッズや冊子などに幅広く活用し、県の取組へのアプローチと周知拡大を目指します。ハーマネーランドエンタメリゾート化構想についても、更なる地域の魅力向上につながるよう、日出町や杵築市等と取組を進めます。今後も、株式会社サンリオなどと連携しながら、そのブランド力を本県の魅力発信に生かしていきます。

大分県のオリジナルロゴ



© '26 SANRIO CO., LTD. APPR. NO. L665342

質問はこのほか「県産品の販路拡大について」など7項目



自由民主党
ますだ みつとく
梶田 貢 議員

宿泊税について



問 導入に伴う事業者の負担をどのように解消し、今後の観光振興に活用していくのか、知事に伺います。

答 人口減少が進む中、交流人口を拡大し県経済を活性化させるには、安定財源の確保が不可欠であり、全市町村の要請も踏まえ、宿泊税導入を決断しました。今後は、特別徴収を担う宿泊事業者への支援と、宿泊税の効果的な活用を進めていくことが重要です。

事業者への支援では、既存レジシステムの改修支援や、事前の周知啓発強化に加え、問い合わせにもきめ細かく対応します。税の効果的な活用では、賦課徴収に要する経費等を除いた額の7割を市町村に交付し、地域資源の魅力向上や受入環境の充実に充て、3割は県において広域的な施策に活用します。加えて、使途は毎年度検証し、公表します。今後とも、関係者と連携し、円滑な導入に向け万全を期します。

質問はこのほか「子ども誰でも通園制度について」など7項目



県民クラブ
わかやま たかとし
若山 雅敏 議員

中山間地域の農業振興について



問 中山間地域の農業振興にどのように取り組んでいくのか、農林水産部長に伺います。

答 2月に定めた「中山間地域農業・農村活性化指針」に基づき、担い手・農地・集落機能の3つを柱に新たな体制で取り組んでいます。

担い手対策では、収益性の高い経営体の育成・確保と合わせ、多様な担い手が営農継続できる環境づくりの推進が重要です。

農地対策では、意欲ある経営体に優良農地の集積・集約化を加速させる取組を行っています。

さらに、集落機能の維持に向け、地域の販売・交流拠点を担う直売所の魅力を高め、地域のにぎわいづくりを支えとともに、国で見直されている日本型直接支払制度の状況を踏まえ、活用の拡大を働きかけます。

こうした取組を関係機関と共有し、中山間地域農業の活性化を進めていきます。

質問はこのほか「地方創生に向けた市町村との連携について」など6項目

可決・同意・承認された
議案等(知事提出)

○予算(1件)

▽令和8年度大分県一般会計補正予算(第1号)

○条例関係(11件)

▽知事等の損害賠償責任の一部免責に関する条例等の一部改正について

▽大分県使用料及び手数料条例の一部改正について

▽大分県宿泊税条例の制定について

○人事関係(1件)

▽副知事の選任について

○その他(3件)

▽美術品の取得について

▽損害賠償請求に関する和解をすることについて

▽工事請負契約の締結について

○報告(1件)

▽大分県税条例等の一部改正について

可決された議案(議員提出)

▽皇室の伝統に基づく安定的皇位継承を確保するための法整備の早期実現を求める意見書

▽地方財政の充実・強化を求める意見書

▽ゆたかな学びの実現と教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度充実強化に係る意見書

▽ドナーミルクの利用拡大を求める意見書